

forum かわあばん

発行:(一社)福井県建築士会 〒910-0854福井市御幸3-10-15(福井県建設会館) TEL(0776)24-8781/FAX(0776)24-9570
E-mail : info@fukuiken-kenchikushikai.or.jp HP : http://www.fukuiken-kenchikushikai.or.jp/

お知らせ 令和5年度 一級・二級・木造建築士 定期講習について

定期講習は建築士法により建築士事務所所属する建築士が3年に1回必ず受講しなければいけないこととなっております。

令和2年度中に受講された方は、令和5年度中に受講する義務があります。未受講の方は建築士法違反になりますので、対象の方は必ず受講するようお願いいたします。

建築士会では右記のとおり開催となります。受講される方は早めの申込みをお願いします。申込書は福井県建築士会のホームページからダウンロードできます。

と ころ：福井県中小企業産業大学校（福井市下六条町16-15）

受 講 料：12,980円

受 付：随時行っています。定員に達し次第締切させていただきます。

講義方式：第1回、第2回、第3回、第4回（DVD講習） ※CPD単位が6単位つきます。昼食を用意しています。

第1回	令和5年 6月30日(金)
第2回	令和5年 9月26日(火)(定員70名)
第3回	令和5年 10月31日(火)(定員70名)
第4回	令和6年 2月27日(火)(定員30名)

お知らせ 既存住宅状況調査技術者講習開催のご案内

平成28年6月に宅地建物取引業法が一部改正され、平成30年4月から既存住宅の売買時に「既存住宅状況調査」の説明が義務付けされました。調査の実施は、登録機関の講習を終了した建築士のみ認められる新たな建築士業務です。今年令和元年度に資格取得された方の3年目の更新時期となります。下記のとおり更新講習3回と新規講習1回を計画しました。是非受講していただきますようご検討ください。※令和5年告示改正にそったテキストに改訂されています。

新規講習 CPD5単位(定員24名)

と き：令和6年1月23日(火) 9:30~17:00

と ころ：福井県中小企業産業大学校 第1中教室

受講料：Web申込…21,450円(税込)、郵送申込…22,000円(税込)

更新講習 CPD2単位(定員24名)

と き：令和5年8月22日(火)、10月17日(火)、11月21日(火) 13:30~17:00

と ころ：福井県中小企業産業大学校 第1中教室

受講料：Web申込…17,000円(税込)、郵送申込…17,600円(税込)

申込方法：日本建築士会連合会HPよりお申し込みください。http://www.kenchikushikai.or.jp

問 合 先：(一社)福井県建築士会 TEL 0776-24-8781まで

令和5年度 監理技術者講習 開催のお知らせ

本講習は公益社団法人日本建築士会連合会が国土交通省より「監理技術者講習」の登録講習機関の認可を受け、福井県建築士会が開催するものでございます。本年度は右記の日程表のとおり開催いたします。特に、一級建築士、1級建築施工管理技士、1級電気工事施工管理技士、1級管工事施工管理技士等の建築工事分野でご活躍されている監理技術者を対象に、実務に役立つ充実した内容の講習を行いますので、この機会に多くの建築施工系監理技術者の受講をお願いいたします。

受講申込：随時行っています。

受講料：テキスト・講習修了ラベル代込、税込

・WEB申込み…9,500円/1名 ・郵送・窓口申込み…10,000円/1名

講義の内容：DVDによる講義+修了試験(計360分)行います。

申込み方法：日本建築士会連合会のホームページで「監理技術者講習」の申込ページをご覧ください。

http://www.kenchikushikai.or.jp/

※企業一括申込み(2名以上)が可能です。詳しくは下記まで電話下さい。

問 合 先：(一社)福井県建築士会 TEL 0776-24-8781 まで

土木系の監理技術者の
受講も可能です。

◆令和5年度監理技術者講習 日程表

会場	開 催 日		
福井	4月5日(水)	6月7日(水)	8月2日(水)
	10月4日(水)	12月6日(水)	2024年 2月7日(水)
敦賀	6月21日(水)	10月24日(火)	2024年 2月21日(水)

福井会場/第2演習室(定員18名) 敦賀会場/会議室(定員15名)

◆会場所在地

【福井会場】福井県中小企業産業大学校
(福井市下六条町16-15)

【敦賀会場】プラザ萬象(敦賀市東洋町1-1)

建築士会が行う監理技術者講習の特色▶①建築に特化した実務に役立つ講習 ②わかりやすく利便性の高いテキスト使用 ③建築士会CPD単位6単位の付与 ④上記以外に建築士会CPD制度加入者の方は建築士会連合会のWEB問題回答でのCPD単位(2ヶ月に一度3単位取得可能年間最大18単位)が受講後5年間取得可能となります。

- 日本建築士会連合会から「建築士SDGs行動宣言」が決意表明されました。その中では7つのスケールイメージと19のゴールの達成を目指しています。連合会のHPに掲載されていますのでご参照ください。
- 日本建築士会連合会から「浸水被害住宅の技術対策マニュアル」が令和5年3月に発行されました。連合会のHP（災害対応の取組情報）に掲載されていますのでご参照ください。

【定期報告の必需品】風速計、CO₂測定器等貸出

会員 1,000円/日・非会員 3,000円/日

建築設備の定期報告に必要な、風速計（熱線式）、照度計、CO₂測定器、非常灯引張棒の4点セットを会員特典付きにて、貸出開始致します。器具は全て日本製ですので安心して使用可能です。

利用の際は、建築士会福井支部事務局の方へお問い合わせ下さい。
TEL 0776-24-8781

お知らせ

第55回 中部建築賞2023 作品募集!

応募期間：令和5年8月1日(火)～8月31日(木)

主催：中部建築賞協議会 <https://www.tkbc.jp/>

応募作品：

①令和5年3月31日までに竣工した新築、改修、修復等がなされた建築物。

「一般部門 A」公共・文教・生涯・商業・厚生・集合住宅・団地計画・都市開発・都市公園などを含む建築物等で延べ面積2,000㎡以上のもの。

「一般部門 B」上記の建築物等で延べ面積2,000㎡未満のもの。

「住宅部門」主要用途が住宅。(集合住宅を除く)

②作品は、中部圏(愛知・三重・岐阜・静岡・福井・石川・富山・長野・滋賀の9県)内で実施されたもの。

③建築確認等が必要なものについては、その手続きが完了しているもの。

応募料：一般部門A：45,000円 一般部門B：38,000円、
住宅部門：15,000円

審査委員：大野 秀敏(建築家[審査員長])

金子 尚志(滋賀県立大学 環境科学部准教授)

佐藤 義信(建築家) 塩見 寛(都市環境デザイナー)

筒井 裕子(建築家) 藤吉 洋司(建築家)

松本 正博(建築家) 横山 天心(富山大学 芸術文化学部准教授)

申込書提出(問合せ)先：「中部建築賞協議会」

〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目3-26 昭和ビル2F東海建築文化センター内

TEL 052-262-0838 FAX 052-262-0839 E-mail:tkc@rapid.ocn.ne.jp

ご案内

越前町栃川 木下家住宅 見学会

(主催：ふくいヘリテージ協議会)

越前町栃川の木下家住宅(明治15年築)が国登録有形文化財に登録されました。式台玄関と呼ばれる来客用の広い玄関が設けられた優美な建築が貴重だと評価されました。

と き：令和5年8月26日(土)

A班 14：00～14：40、

B班 15：00～15：40

見学は無料。会場付近では駐車厳禁。

事前申込が必要。それぞれ先着20人限定。

申込者に駐車場、集会所等をお伝えします。見学希望時間帯、氏名と住所または所属を明記し、下記に電子メールでお申し込みください。

申込先：ふくいヘリテージ協議会事務局 尾野(ono-km@beach.ocn.ne.jp)

申込期限：8月23日(水) 18：00



ご案内

低コスト工法 講習会
(耐震リフォーム達人塾)

福井県では耐震改修における「合理的な耐震診断や設計」・「安価な改修工法(低コスト工法)」・「所有者への説明技術」について学ぶことができる、低コスト工法講習会(耐震リフォーム達人塾)を令和3年度より実施しているところです。

今年度におきましても、講習会の開催が決定しましたので、ご案内いたします。全3回となっており、いずれか1回のみ受講でも可能です。日程等ご確認の上、ぜひご参加ください。

【第1回ベーシックコース】

と き：令和5年8月4日(金) 13：30～17：00

ところ：市民プラザたけふ 3階 多目的室1

(越前市府中1丁目11-2)

【第2回アドバンストコース】

と き：令和5年9月28日(木) 10：00～17：00

ところ：越前市役所 eホール(越前市府中1丁目13-7)

【第3回施工演習コース】

と き：令和5年9月29日(金) 13：00～16：30

ところ：越前市文化センター 小ホール(越前市高瀬2丁目3-3)

※すべての回で受講料は無料となっております。

(ただし、テキスト代は4,000円となります。)

※アドバンストコース・施工演習コースは耐震診断や改修の設計者・施工者など実務者向けの内容となっております。

※アドバンストコースでは耐震診断ソフトを使用し設計演習を行いますので、受講の際は各自ノートパソコンをご準備ください。※低コスト工法は各市町の耐震診断・耐震改修補助制度の対象工法です。

受講されたことのない方はもちろん、過去に受講したことがある方におきましても、ぜひご参加ください。

参加については事前申し込み制とさせていただきます。

下記入力フォームからお申し込みください。

申込フォーム▼



案内チラシ▼



福井県HP▼



主催：福井県・名古屋工業大学高度防災工学研究センター
お問い合わせ：福井県土木部 建築住宅課 TEL 0776-20-0506

【1970～90年代の県外建築家の作品紹介⑤】

廣瀬廣嗣・野中裕介・川端秀和・朝日海秀・市川秀和



12代伊藤平左衛門



直井 光男

12代伊藤平左衛門・直井光男

平安時代の美的空間構成の復元「武生市紫式部公園釣殿 1987」

建築家・12代伊藤平左衛門(1922～2004)は、尾張藩の堂宮大工の家系の下、第11代伊藤平左衛門正道の長男要太郎として生まれ、東京帝国大学建築学科を卒業後、同大学院を修了すると茨木県、宮内庁などの嘱託を経て1960年に現在の伊藤平左衛門建築事務所を東京と名古屋に設立した。1966年からは中部大学にて教鞭をとり、利休の茶室「工法庵」や「洞雲亭」、四阿の「爛柯軒」などを同学科の教員学生と共に造営した。そして1980年に第12代を襲名してまもなく、「武生市紫式部公園釣殿(1987)」(掲載誌:『建築福井39号』1989/1)を現在の越前市に設計した。絵巻物を参考に復元された釣殿は、床の廻し張り、高窓の横格子、梅鉢型の懸魚など、雪国の風土性を念頭におき設計され、平安時代の裕福で重厚華麗な佇まいが残る美的空間が実現した。なおこの施工を担当したのが、棟梁・直井光男(1934～2021)である。旧武生市で生まれた直井は、地元の宮大工・辻崎義一に入門した後、法隆寺の宮大工として有名な西岡常一のもとで薬師寺金堂など多くの文化財修復に携わったほか、帰郷後に鯖江の春日神社や武生の大塩八幡宮、福井城舎人門・御廊下橋の復元など多数手がけた。その直井が釣殿の復元するにあたり、設計の段階から過去の経験に基づく提言を行い、12代平左衛門と度重なる検討を重ね、故郷に残る新しい文化財への気持ちを含め、見事に完成させた。なお造園は、著名な庭園史家・森蘆が担当したことを付記する。(野中裕介/サイトーバンキン株式会社)



現在の全景(釣殿と園庭をみる)